

■米国：米国運輸省が EV 充電スタンドの拡充計画を公表

2016年11月3日付の報道によると、連邦運輸省は、温室効果ガスの排出量削減を主な目的として、電気自動車（EV）用充電スタンドの拡充を支援する。2016年に初めて、運輸部門の温室効果ガス排出量が電力部門を上回り、国内で最も排出量の多い部門となった。連運輸省連邦道路管理局（FHWA：Federal Highway Administration）によると2016年上半期に運輸部門で使用されたガソリンは720億ガロンであり、2015年上半期と比較し3%の伸びとなった。連邦政府は、EV用充電スタンドの拡充を運輸部門の温室効果ガス排出量削減の効果的な対策の一つと捉えている。運輸省長官のAnthony Foxx氏は、「高速道路からEV用充電スタンドの充実化を図っていく計画である」としている。EV用充電スタンドの設置計画は35州、55の高速道路、距離にして8万5,000マイルを対象としている。